

## 三重県南牟婁郡紀宝町議会

### 2 住民に開かれた議会

紀宝町の将来を担う子ども達、またその保護者、教育関係者、住民等に議会、行政に関心を持って頂くために、小学生高学年を対象にした子ども議会を平成21年度より、毎年開催している。今年度からは、子ども達に、より深く議会の役割、役場の仕事を知り質問を考えるための材料提供として、事前に各課長等により各課の仕事内容の説明をする時間を設けた。子ども達は、説明を受けた内容をもとに日頃から思っていることをまとめてそれぞれの想いを質問した。当局側は、通常の本会議同様に町長、管理職員が答弁を行った。子ども達にとっては、自分たちの町について考える良い機会になり、そのことが、将来町の財産になることを期待している。子ども議会の傍聴者は、平成25年度は、39人、今年度は、34人と通常の議会では考えられないような多人数となっており、目的である保護者、教育関係者、住民の方にとっても議会に関心を持って頂く機会になったと思っている。現在は、小学生高学年を対象としているが、今後は、中学生などにも対象を広げ、更に活発な議論ができるようになればいいと考えている。

平成23年6月より、議場に傍聴にお越しになれない皆さんが、自宅等でも本会議の映像ご覧頂けるよう、議会の全内容を役場本庁舎など5施設でライブ放送している。また録画ではあるが、インターネットでも放映している。

議会だよりは、年4回発行し町内全世帯に配付している。掲載されている内容は、主に一般質問の質疑応答が中心で議員自ら、質疑内容を約2,500文字以内に要約し掲載している。校正にあたっては、議員の中から毎号交代で選出される議会だより編集員と議会事務局職員とで行っている。今後は、一般質問質疑中心ではなく、他市町村の議会だよりを参考にしながら、町民に親しみのある議会だよりづくりに努めたい。

一般質問の内容は、事前に地元新聞に掲載し周知を行っているが、今後は、傍聴者のために質問者の質問日、時間が分かるような方法を考えたい。

議会開催の周知は、議会だより、防災行政無線、地元新聞で行っている。